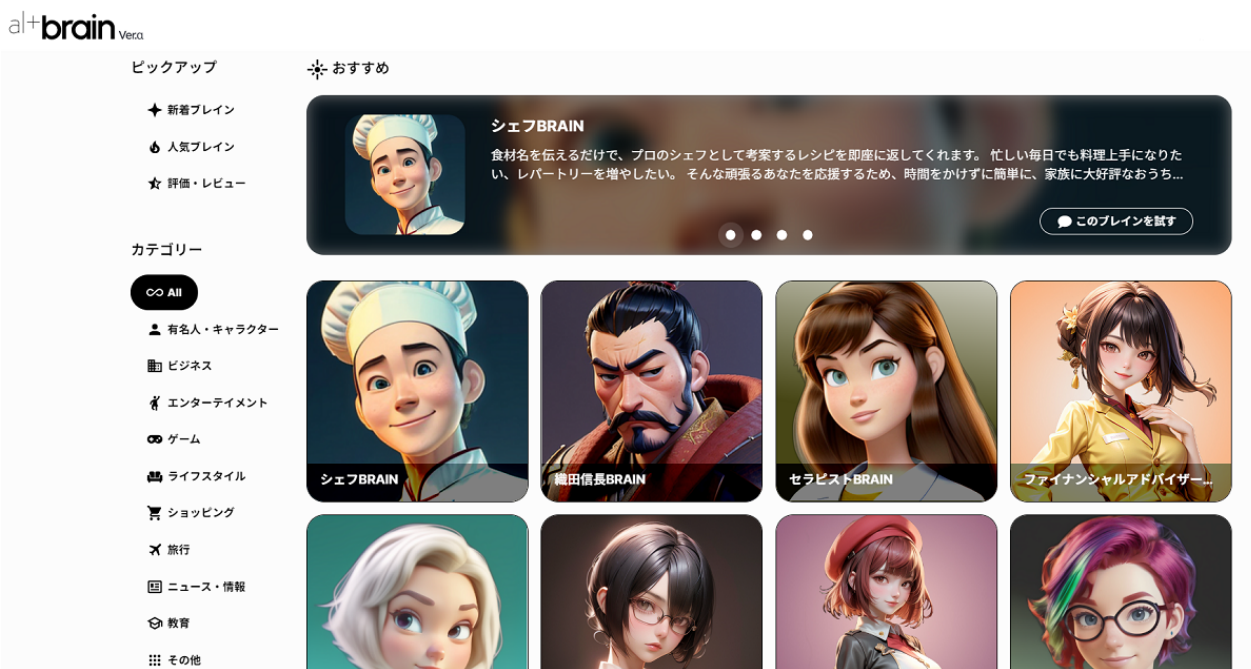


ニュースリリース

オルツ、ノーコードエージェント生成プラットフォーム「altBRAIN」のα版を発表 ～国内発の大規模言語モデル「LHTM-2」をベースとした新時代のプラットフォームで コミュニケーションの新たな可能性に挑戦～

P.A.I.®（パーソナル人工知能）をはじめ、AIクローン技術で作り出すパーソナルAIの開発および実用化を行う株式会社オルツ（本社：東京都港区、代表取締役：米倉 千貴、以下、オルツ）は、当社が開発した大規模言語モデルである「LHTM-2」 (<https://alt.ai/news/news-1892/>) を基盤としたノーコードエージェント生成プラットフォーム「altBRAIN（オルツブレイン）」 (<https://altbrain.ai/>) のα版を発表いたします。



「エージェント」とは、人間の代行として処理を実行するソフトウェアの通称です。「altBRAIN」は、織田信長や著名人のキャラクター生成をはじめ、ゲーム攻略エージェントや内科・小児科などの問診で使用可能な問診エージェントなど、多岐にわたるエージェントの作成をノーコードで容易に行うことができるプラットフォームです。現在のα版では約20種類のエージェントを用意し、そのすべてを無料で利用できます。なお、本サービスの正式ローンは2023年7月を予定しており、その時点では100体以上のエージェントの提供を目指しております。

「altBRAIN」は、オルツが開発・提供する大規模言語モデル「LHTM-2」の能力を活用しています。本プラットフォームの重要な機能の一つとして、LINE、Slack、Discordなど、多様なプラットフォーム上でエージェントを自動生成できる点が挙げられます。LINE Botなどを簡単に作成することができるため、コミュニケーション領域における新たな可能性を追求することができます。また、本プラットフォームは、急速に成長する大規模言語モデルのニーズに即座に対応可能な柔軟性を有しています。そのため、エンターテインメント領域から、企業内のエキスパートシステムやFAQシステムまで、様々な用途に応じたエージェントをスピーディーに構築することができます。

オルツは今後、プラットフォームの利用者数の拡大を目指すとともに、企業に対するエージェント生成の受託生産も行う予定です。

「LHTM-2」という「事実性」を重視した大規模言語モデルをノーコードで利用できる環境は、オルツが挑む新たな試みです。実際のユースケースを容易に作り出すプラットフォームを提供することで、オルツは次世代のコミュニケーションの形を創造し、ユーザーに革新的な体験を提供してまいります。

▶ **altBRAIN（オルツブレイン）に関するお問い合わせ先**

<https://altbrain.ai/>

■ **株式会社オルツについて**

2014年11月に設立されたオルツは、P.A.I.®（パーソナル人工知能）、AIクローンをつくり出すことによって「人の非生産的労働からの解放を目指す」ベンチャー企業です。また、AIの対話エンジンの開発から生まれた音声認識テクノロジーを活用した「[AI GIJIROKU](#)」などのSaaSプロダクトを開発・提供しています。2022年6月にシリーズDラウンドで35億円の資金調達を実施し、累計調達額は62億円に及びます。

<https://alt.ai/>

< **報道関係者からのお問い合わせ先** >

株式会社オルツ 広報 西澤

TEL：03-6455-4677 e-mail：press@alt.ai

< **アライアンスに関するお問い合わせ先** >

株式会社オルツ AI Solutions事業部 浅井

TEL：03-6455-4677 e-mail：altbrain@alt.ai